勝覚寺本尊釈迦如来像修復記念
春の特別拝観
遍照殿改築記念

勝覚寺本尊釈迦如来像が、平成22年夏～平成23年末にかけて、河本雅史仏師率いる長南文化財修復室にて修復を終えました。
江戸中期になされた修復の記録から台座が見つかり、また、印契につきましても昭和になってから直されていた事が分かり、江戸期に製作された版木に伝えるとおり「拈華微笑」の印を結ぶように直しました。

この勝機にあたり、広く釈迦如来像、阿難迦葉両像、四天王像との結縁をお勧めする為、特別拝観を催すことと致しました。

遍照殿（平成23年末竣工）

ガチャガチャ

四天尊缶バッジ
全4種

＊デザインは実物と異なる場合があります。。　1回：￥200

勝覚寺の四天尊が缶バッジになりました。
収益は震災義援金とさせていただきます。

同時開催

寺cafe

寺とカフェがコラボ！！
癒しのひとときをお楽しみください。

あなたと寺の
23日間

3月17日(土)～4月8日(日)
午前10時～午後4時

真言宗智山派
四天尊勝覚寺

勝覚寺縁起

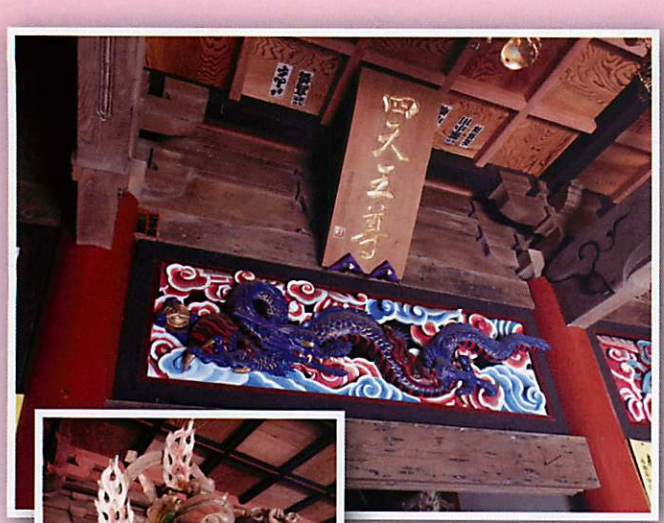
正しくは萬徳山聚樂院勝覺寺と号し、現在では眞言宗智山派に属しています。

古い寺伝によれば、創建は天暦元年(九四七)とありますが、その開基はよく分かっていません。

嘉暦元年（一三二六)には、平常直が上堺村屋形(現横芝町屋形)に政庁を置きました。その後代の平高望が修繕をした記録があります。また、その後火災にあって焼失したのを、明応九年(一五〇〇)十一月に当時の住職の長覺が再興しました。即ち長覺和尚は中興開山の祖になります。また天正十九(一五九一)年には原胤安、同胤房が堂宇補修を行った記録も残っています。最盛期は七堂伽藍を整え住僧も多かったようですが、度重なる火災などにより、現存している堂宇は釈迦堂と鐘楼堂のみとなってしまいました。

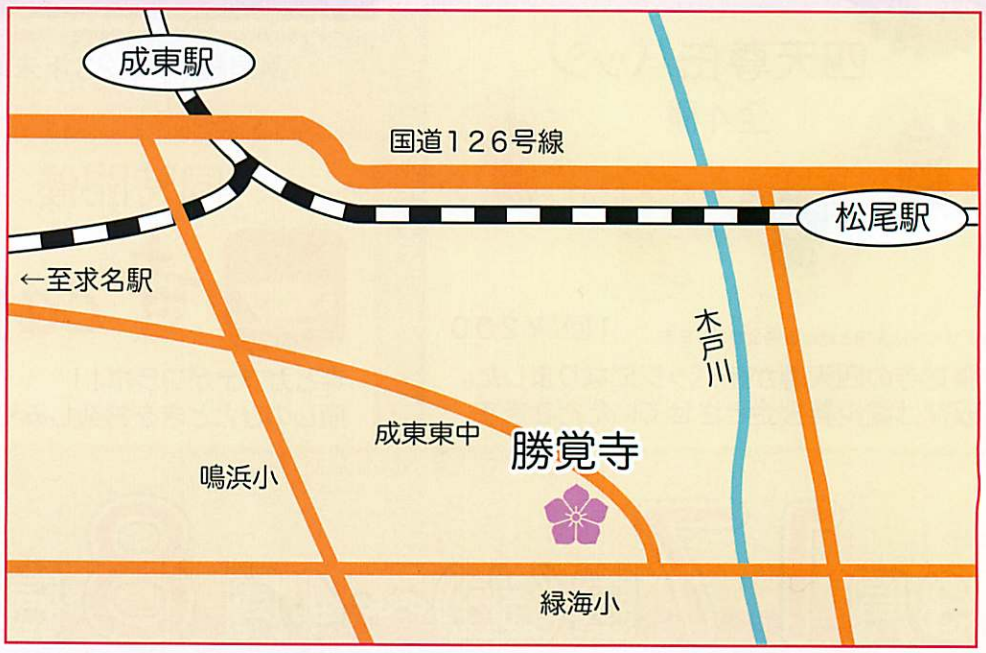
当初は後村上天皇の勅願寺院として建立された、という伝承もあります。また、江戸時代になってからは慶安二年(一六四九)に三代将軍家光公より、十石二斗の寺領を拝領しています。

釈迦堂には本尊の釈迦如来を守護するように、四天王像が安置されています。この寺の通称「してんさま」はそれに由来するものです。



勝覚寺へのアクセス

JR成東駅より　車で約21分
JR松尾駅より　車で約23分
JR求名駅より　車で約26分



twitter

twitterで勝覚寺の情報を発信しています。下記のアカウントをフォローして下さい。

shu_ksg_99

真言宗智山派
四天尊勝覚寺
〒289-1303 千葉県山武市松ケ谷イ2058
電話 0475-84-0248 Mail shokakuji@dol.hi-ho.ne.jp
http://www.shokakuji.com/